

中国・伝媒大学
2017年度 留学報告書
派遣期間 (2017年8月～2018年7月)

(学年は派遣時)

コース名： 対外漢語中心

人間社会学部 人間社会科2年

留学へ行く前は、大学で第二外国語として中国語に軽く触れていただけで、簡単な挨拶や自己紹介程度しか話すことが出来ませんでした。10ヶ月の中国生活で中国語はかなり伸びました。寮の手続きや大学の事務に日本語を話せる人はもちろんいませんし、英語が通じる人も少ないです。そのため、来たばかりの頃は交換留学生だった中国人学生や日本人の本科生に助けて貰っていました。現地の人と話すと中国語は速く、知っているはずの単語も聞き取れず耳が慣れるのにも時間が掛かりました。

最初の授業はついていくのに精一杯で毎日大変でしたが、早く自分の伝えたいことを話せるようになりたい、友達とコミュニケーションを沢山取り仲良くなりたいという思いを常に持ち過ごしていました。初日の授業から、たとえ上手く伝わらなくても頑張ってみたり、分からないことがあれば先生にすぐ聞きに行ったり積極的に行動することを心がけていました。とりあえず声に出してみることが大切だと思います。

留学生活は自由です。自分の行動次第で何でも変わります。私のクラスメートはとても明るく話すことが好きな人ばかりだったこともあり、すぐに仲良くなることができました。これは、彼らのおかげでもあるけれど、自分から積極的に話しかけ、相手の考えや文化を受け止め理解することが出来たからこのような関係を築くことができたのだと思います。日本人と比べ中国人、その他の外国の人達は本当に積極的です。思ったことは口に出してはっきり主張します。最初は戸惑い傷つくこともありましたが、毎日外国の人と関わるうちに、自分に足りない部分、日本人にはない彼らの良さを学ぶことが出来ました。積極性や異文化理解、違う考えを受け入れることなど、日本にいたら考えもしなかったことを沢山知り、得ることができました。日本語が全く通じない環境にいるため、徐々に語学力が上がっていることも実感でき嬉しかったです。

これから留学を考えている人、少しでも行こうかなと迷っているなら絶対に行くべきです。行く前はどのような生活、環境が待っているのか想像できず心配なことが多いかも知れませんが、行けばあっという間に慣れます。楽しいです！！日本にはない体験が沢山でき、様々な国の文化や人柄、考えを知ることが出来ます。そして、今までの自分の考え方や生活を見直すことができます。

これから中国へ留学する方、中国は日本と考え方が違う部分が沢山あります。慣れるまではそういったことがきつく感じてしまうかもしれません。しかし、生活や環境に慣れてしまえばとても暮らしやすい国だと思います。

日本人の中には、中国、中国人に対して悪いイメージを持っている人がいると思いますが、テレビ

で放送されるニュースや情報だけで中国のイメージを決めつけてほしくありません。日本にはない良いところが沢山あります。人も優しく、興味を持って話しかけてくれます。中国へ行き、こんな考えもあるんだ、面白いな、中国のこういうところが良いなと感じてほしいです。留学は大変なこともあります但し楽しいことのほうが多いです。そこで出会った人達を大切に、充実した楽しい生活を送ってください！

コース名： 対外漢語中心

文学部国文学科 2年

多くの中国人や世界各国の人と関わることで自分の価値観は大きく変わったと思います。こうあるべきという考えにとらわれがちでしたが、さまざまな考えに触れ視野が広がったように思います。また中国の大学生はよく勉強します。彼らをみたこと、そして日々の授業や生活のおかげで勉強することの楽しさを思い出せたように思えます。

中国は近くにある国でありながら知らないことが多く毎日がとても新鮮でした。メディアを通してみる中国と自分の目でみる中国は大きく違ったように思います。ついマイナス面を見がちですが、私が出会った中国の人々は皆優しく、北京はとても発展しており驚きました。留学しなければこれらのことは知ることはなかったでしょう。私は、人から聞くより自分の目で見て体験するということが何よりも重要だと思います。